

みんなの党
みんなの党

音喜多しゅん おときた駿



経歴

1983年9月21日生の29歳 おとめ座O型
北区王子にて水道工事店の長男として生まれ、
姉と妹とともに元気に成長する

いなり幼稚園卒 北区立王子第二小学校卒
私立海城中学校・高等学校卒
早稲田大学政治経済学部政治学科卒

LVMHモエヘネシー・ルイヴィトンにて
営業・マーケティング経験を経て
現在、みんなの党東京都議会第6支部(北区)支部長
I LOVE 北区♥Project実行委員長

趣味・趣向

マラソン 東京マラソン2008出場(タイム:4時間5分17秒)
2012年館山トライアスロン大会完走

中国拳法 学生時代に、武術団体「早稲田カンフー」第23代主将を務める
ダンス 社会人になりストリートダンスに目覚める。ニコニコ動画に
ダンス動画を投稿し、「第2回ニコニコダンスマスター」出場

旅行 全国47都道府県、バックパッカーで15カ国制覇

読書 年間100冊読破を7年間継続中

ブログ 学生時代から個人ブログを8年継続
累計100万PV達成!

尊敬する人 ジャッキー・チェン

悩み 童顔なこと



お知らせ

みんなで北区を盛り上げよう!

I LOVE 北区♥Project ファンページオープン!
<http://facebook.com/tokyokitaku>

ボランティアスタッフ募集中!

おときた駿と一緒にピラ配りやポスティング、各種イベント運営の
お手伝いをしてくださる方を募集しています!
詳しくは、下記連絡先までお問い合わせ下さい。

事務所

東京都北区王子本町2-8-8
Tel/Fax 03-3908-3121
mail@otokitashun.com
<http://otokitashun.com>



ごあいさつ

世代間格差が約1億円、貧相な子育て支援、逼迫した財政状況…。
2月から皆さまにお配りさせていただいた政策レポートでは、日本の
政治が抱える様々な問題点を提起させていただきました。
こんな状況を「東京なら変えられる!」というメッセージとともに。

その反響は凄まじいものでした。「このままの政治ではいけない!」
「若い人に頑張ってもらいたい!」「東京を変えてほしい!」そうした声
がますます突き動かし、活動のエネルギーとなっています。

今回の政策レポート第二弾は、私が政界を目指すきっかけともな
った、東日本大震災の復興支援実績が中心の内容となっています。
さらに多くの志を同じくする仲間と出会えることを願って…。

同年代の皆さま、どうか私と一緒にたたかって下さい!
先輩の皆さま、どうぞ「北区のおときた」を支えて下さい!
政治を、日本を、必ず変えてみせます。

東京から変えていく。変えられる理由がある。

音喜多駿

おときた駿の考える 4つの政策

政策の詳細は
ホームページにて
ご覧いただけます



1. 子育て支援政策をフランス流へ
都内にもある教育格差!
2. 教育水準の底上げで競争できる環境へ
定年=リタイアはもう古い!
3. 世代の垣根を超えて協働する街へ
民間の力を活かせ!
4. スリムな行政でスマートな社会へ



代表
渡辺喜美



幹事長
江田憲司



参議院議員
松田公太

おときた駿は、
みんなの党
東京都議会議員選挙の
公認内定者です。



みんなの党
みんなの党

おときた駿

みんなの党東京都議会第6(北区)支部長

北区出身 早大政経卒

東京から変えていく。
変えられる理由がある。

なぜ29歳外資系 サラリーマンが 政治家を志したのか?

音喜多しゅん おときた駿の活動

**私が政治家になろうと思った理由。それは——
あの東日本大震災と、その復興支援に関わった経験を
抜きには語れません。**

東日本大震災の発災から一か月、初めて被災地に立った私は、延々と広がる瓦礫の前に言葉を失いました。

自身の無力感に苛まれながら、東京にいても自分たちにできる活動を考え、取り組んだのは子ども支援です。心理学では「悲しい思い出は、楽しい思い出で書きさされる」という研究結果があります。震災の悲しみを少しでも癒し、未来を背負う子供たちに笑顔届けたい。そんな想いで、かねてから友人と行っていた巨大カステラ作りを、被災地に届ける活動を開始しました。みんなで作り、みんなで食べる。それは夢の食べものを自分たちの手で作り出す作業を通じ、町を、未来を作り出す子どもたちを少しでも支えたいという願いでもありました。



活動実績 1 巨大カステラを 東北に届ける。

巨大カステラを東北に届ける。

この活動も気付けばもう 60 回を越える開催となりました。

会場は東北三県(岩手・宮城・福島)の沿岸部を中心に、幼稚園や保育園、小学校や各種復興イベントまで「子どもが一人でもいればどこへでも！」をモットーに活動してきました。受け入れ先は 10 名前後の小規模な施設



から、届けた人数は子供だけでも 2500 名以上、大人も含めると 5000 名は超えるでしょうか。

あふれる物資が現地の商売を圧迫してしまう等、善意の気持ちが地元へ負担をかけてしまう恐れもあるため、迷惑になることのないよう、毎回地元の方と相談しながら計画を練りました。



震災から 1 年半ほど経って、6 歳の子どもに再会しました。彼女は「カステラの思い出を、忘れないようにしようって



決めたんだあ」と、何気なく口にしました。今は立派な小学生になった彼女はこれからの町を支える大切な宝物。結果の見えにくい心の支援を続ける私たちにとってこれほど有難い言葉もありません。

活動実績 2 道具はシャベルと手。 直接的な支援活動。

震災直後の時期、延々と続く瓦礫の前にした私たちはカステラだけでなくより直接的な支援も行いました。瓦礫撤去や海水による塩害農地の復旧事業などです。視野一面に広がる瓦礫を相手に、それは途方もない作業でした。道具はシャベルと手。東京ドームに満たされた砂をピンセットで一粒ずつ拾う、そんな作業を延々繰り返します。

当時はこんな作業がいつ終わるものかと途方に暮れそうにもなりましたが、



なぜ 29 歳外資系サラリーマンが政治家を志したのか？

● 2 年が経過した今、確かに見た目の瓦礫はずいぶん片付いたようにも見えます。しかしそれでも 2 年たってまだこれだけなのです。これからこの町をかき上げし、防潮堤を築き、そして町を描かねばなりません。阪神大震災でさえ、2 年後にはほとんどの仮設から退去することができたというのに、東北では多くの方がまだ仮設住まいです。

● そして住むところすら未だにまもらないこの状況は、「決められない政治」がその一因となっていることは間違いありません。

● 復興支援を通じて被災者の生の訴えを聞いた時に、「一刻も早く、この政治をなんとかしなければ！」という私の思いは強くなっていきました。

活動実績 3

カステラ作り、 60 回を超えた向こうに。



● これまでの活動の中で、外部団体から評価をいただくこともしばしばありました。読売新聞や毎日新聞からの取材、「イネ! project award 2011」および「サイボウズ LIVE コンテスト」最優秀賞など、従来の方法にとられないユニークな支援の在り方と、活動の継続性を評価いただきました。

未来宣言

これからの、おときた駿。

● 当初はボランティア素人の仲間たちと手探りで始めた活動にこのような評価を世間から頂くことは、とても有難く感じます。

● そして支援活動の次の舞台に私は、政治の世界を選びました。復興支援を妨げる「決められない政治」を正すため、亡くなってしまった方々の無念に報いるため。

● 東京から政治の世界を変えていくべく、全力で闘ってまいります。